

1 単元（題材） 修学旅行新聞をつくろう

2 目標

新聞づくりを通して、自分の考えを読み手に伝える力を育成する。

3 活用したICT

デジタルカメラ コンピュータ

4 活用したICTの特性

- ・ 新聞をつくる際に、修学旅行で撮影したたくさんの画像の中から、児童が自分の伝えたい思いをもとに選択したり、拡大や縮小、トリミングなどの加工をしたりすることができる。（デジタルカメラ）
- ・ 見出しの大きさや位置、記事の段数など新聞全体のレイアウトや、文字の字体や大きさ、色が自由に設定できるため、児童が手軽に工夫して新聞をつくることができる。（コンピュータ）

5 実践の様子

- ① 修学旅行当日は、バスガイドや現地のボランティアガイドの話当真に聞き、メモをとった。児童を小グループに分け、各グループに一台ずつデジタルカメラを配布し、自由に写真を撮れるようにした。興味をもったものを様々な角度から何枚でも撮影できるので、かなり多くの写真を撮ることができた。
- ② 新聞をつくる際に、修学旅行中に得たたくさんの情報から、自分が最も心に残った情報や、相手に伝えたいと思った情報を選び出した。また、写真選びでも同様に、書きたい内容に最も適した写真を選んだ。

<p>なごむ建造物</p>  <p>建造物だ。 十月三日、銀閣寺に行った。 一四八二年に足利義政により建てられた銀閣寺の正式名称は東山慈照寺だ。 金閣寺とはちがいが銀箔ははられていないが人の心をつかみながらこませてくれる</p>	<p>きれいに輝く金閣寺</p>  <p>のは「逆さ金閣」を綺麗に見せるための工夫だ。 十月三日、銀閣寺に行った。 一四八二年に足利義政により建てられた金閣寺は十坪四方の金箔が約二十万枚ははられている。 一階に金箔がはられていない</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; font-size: 2em; font-weight: bold;">修学旅行新聞</p>
<p>十月二日、東大寺に行った。東大寺は二階大仏の大きさは、約十五メートルあり、とてもあった。 大仏の右手の中指が少し出ている。なぜ出るのか。その理由は、大仏の右手で人を救済指で人を招き入れ、左手で招いた人に乗せをかなえるからだ。</p>	 <p>大仏 迫力大！</p>	
<p>【資料①】 パソコンを使用して作成した新聞</p>		

- ③ 統合ソフトの新聞作成機能を活用した。見出しは目立つように太字にしたり、色を付けたり、書写で書いたような字体にしてみたりと、自ら工夫して新聞をつくった。また選んだ写真を、拡大したり、いろいろな部分をトリミングしたりしながら、新聞に掲載した。【資料①】
- ④ つくった新聞を児童同士で読み合った。友達が感じたことを読み取って、興味を持ったり共感したりしていた。

6 成果と課題

- 修学旅行中、児童にデジタルカメラを持たせて自由に撮影を行わせたことによって、新聞づくりに必要な写真を大量に撮ることができ、記事の内容に合わせて活用することができた。
- 新聞づくりにパソコンを活用することで、相手に注目してもらいたいことを意識しながら字体、文字の大きさや色、写真の大きさなどを相手に伝わりやすく工夫することができた。
- パソコンで新聞をつくる時に、難しい言葉や漢字をそのまま記事に載せてしまうことで、相手にとって意味が分かりづらい新聞になってしまった。